

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
1	116	内用薬	エクフィナ錠50mg	50mg1錠	963.90円	100錠 [10錠 (PTP) ×10シート、乾燥剤入り] 500錠 [瓶、バラ、乾燥剤入り]	MeijiSeika ファルマ	サフィナミ ドメシル酸 塩	レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing off 現象の改善	本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。通常、成人にはサフィナミドとして50mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じて100mgを1日1回経口投与できる。	劇、処方	R1.9.20	新有効成分
2	117	内用薬	トリンテリックス錠 10mg	10mg1錠	168.90円	100錠 (10錠×10)	武田薬品工 業	ボルチオキ セチン臭化 水素酸塩	うつ病・うつ状態	通常、成人にはボルチオキセチンとして10mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により1日20mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。	劇、処方	R1.9.20	新有効成分
			トリンテリックス錠 20mg	20mg1錠	253.40円	100錠 (10錠×10)							
3	219	内用薬	コララン錠2.5mg	2.5mg1錠	82.90円	(PTP) 100錠 (10錠×10) (ポリ袋：バラ) 100錠、500錠	小野薬品工 業	イバブラジ ン塩酸塩	洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全 ただし、β遮断薬を含む慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。	通常、成人にはイバブラジンとして、1回2.5mgを1日2回食後経口投与から開始する。開始後は忍容性をみながら、目標とする安静時心拍数が維持できるように、必要に応じ、2週間以上の間隔で段階的に用量を増減する。1回投与量は2.5、5又は7.5mgのいずれかとし、いずれの投与量においても、1日2回食後経口投与とする。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	R1.9.20	新有効成分
			コララン錠5mg	5mg1錠	145.40円	(PTP) 100錠 (10錠×10) (ポリ袋：バラ) 100錠、500錠							
			コララン錠7.5mg	7.5mg1錠	201.90円	(PTP) 100錠 (10錠×10) (ポリ袋：バラ) 100錠、500錠							
4	399	内用薬	エベレンゾ錠20mg	20mg1錠	387.40円	30錠 (3錠×10)	アステラス 製薬	ロキサデュ スタット	透析施行中の腎性貧血	赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合 通常、成人には、ロキサデュスタットとして1回50mgを開始用量とし、週3回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1回3.0mg/kgを超えないこととする。 赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合 通常、成人には、ロキサデュスタットとして1回70mg又は100mgを開始用量とし、週3回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1回3.0mg/kgを超えないこととする。	劇、処方	R1.9.20	新有効成分
			エベレンゾ錠50mg	50mg1錠	819.20円	30錠 (3錠×10)							
			エベレンゾ錠100mg	100mg1錠	1,443.50円	30錠 (3錠×10)							

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
5	429	内用薬	ベネクレクスタ錠10mg	10mg1錠	874.60円	14錠[2錠 (PTP)×7]	アツヴィ	ベネトクラクス	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）	通常、成人にはベネトクラクスとして、用量漸増期は第1週目に20mg、第2週目に50mg、第3週目に100mg、第4週目に200mg、第5週目に400mgをそれぞれ1日1回、7日間食後に経口投与する。その後の維持投与期は、400mgを1日1回、食後に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	R1.9.20	新有効成分
			ベネクレクスタ錠50mg	50mg1錠	3,964.50円	7錠[1錠 (PTP)×7]							
			ベネクレクスタ錠100mg	100mg1錠	7,601.10円	7錠[1錠 (PTP)×7]、14錠[2錠 (PTP)×7]、28錠[4錠 (PTP)×7]							
6	624	内用薬	ラスピック錠75mg	75mg1錠	361.40円	PTP包装：50錠（10錠×5）	杏林製薬	ラスクフロキサシン塩酸塩	<適応菌種> 本剤に感性的のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、ブレボテラ属、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ） <適応症> 咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎	通常、成人には、ラスクフロキサシンとして1回75mgを1日1回経口投与する。	処方	R1.9.20	新有効成分
7	249	注射薬	フィアスプ注 フレックスタッチ	300単位1キット	1,918円	1筒3mL（100単位/mL）：2本	ノボ ノルディスクファーマ	インスリンアスパルト（遺伝子組換え）	インスリン療法が適応となる糖尿病	本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。通常、成人では、初期は1回2～20単位を毎食開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日4～100単位である。通常、小児では、毎食開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日0.5～1.5単位/kgである。	劇、処方	R1.9.20	新剤形
			フィアスプ注 ベンフィル	300単位1筒	1,338円	1カートリッジ3mL（100単位/mL）：2本							
			フィアスプ注 100単位/mL	100単位1mLバイアル	334円	1/バイアル10mL（100単位/mL）：1本							

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
8	395	注射薬	プリニニューラ脳室内注射液150mg	150mg5mL1瓶	1,327,645円	プリニニューラ脳室内注射液150mg(5mL)2バイアル及びプリニニューラ脳室内注射液150mg用フラッシュ溶液(5mL)1バイアル	BioMarin Pharmaceutical Japan	セルリボナーゼ アルファ(遺伝子組換え)	セロイドリボフスチン症2型	通常、セルリボナーゼ アルファ(遺伝子組換え)として、300mgを2週間に1回、脳室内投与する。なお、患者の状態、年齢に応じて適宜減量する。	生物、劇、処方	R1.9.20	新有効成分
9	399	注射薬	クリスピーータ皮下注10mg	10mg1mL1瓶	304,818円	1mL[1バイアル]	協和キリン	プロスマブ(遺伝子組換え)	FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症	<FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症(腫瘍性骨軟化症を除く)> 通常、成人には、プロスマブ(遺伝子組換え)として4週に1回1mg/kgを皮下投与する。ただし、1回投与量は90mgを超えないこと。血清リン濃度、症状等に応じて適宜減量する。 通常、小児には、プロスマブ(遺伝子組換え)として2週に1回0.8mg/kgを皮下投与する。血清リン濃度、症状等に応じて適宜増減するが、最高用量は1回2mg/kgとする。ただし、1回投与量は90mgを超えないこと。 <腫瘍性骨軟化症> 通常、成人には、プロスマブ(遺伝子組換え)として4週に1回0.3mg/kgを皮下投与する。血清リン濃度、症状等に応じて適宜増減するが、最高用量は1回2mg/kgとする。	生物、劇、処方	R1.9.20	新有効成分
			クリスピーータ皮下注20mg	20mg1mL1瓶	608,282円	1mL[1バイアル]							
			クリスピーータ皮下注30mg	30mg1mL1瓶	911,812円	1mL[1バイアル]							
10	429	注射薬	ポートルーザ点滴注射液800mg	800mg50mL1瓶	238,706円	1バイアル	日本化薬	ネシツムマブ(遺伝子組換え)	切除不能な進行・再発の扁平上皮非小細胞肺癌	ゲムシタピン及びシスプラチンとの併用において、通常、成人にはネシツムマブ(遺伝子組換え)として1回800mgをおよそ60分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	生物、劇、処方	R1.6.18	新有効成分
11	634	注射薬	イスパロクト静注用500	500国際単位1瓶(溶解液付)	67,436円	イスパロクト静注用500×1バイアル	ノボ ノルディスクファーマ	ツロクトコグアルファベゴル(遺伝子組換え)	血液凝固Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	本剤を添付の専用溶解液全量で溶解し、1~2mL/分で緩徐に静脈内に注射する。通常、1回体重1kg当たり10~30国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。定期的に投与する場合、12歳以上の患者には、通常、1回体重1kg当たり50国際単位を4日毎投与に投与する。なお、患者の状態に応じて、1回体重1kg当たり50国際単位を週2回、又は1回体重1kg当たり75国際単位を週1回投与することもできる。12歳未満の小児には、通常、1回体重1kg当たり60国際単位を週2回投与する。なお、患者の状態に応じて、1回体重1kg当たり50~75国際単位を週2回又は3日毎に投与することもできる。	生物、処方	R1.9.20	新有効成分
			イスパロクト静注用1000	1,000国際単位1瓶(溶解液付)	124,632円	イスパロクト静注用1000×1バイアル							
			イスパロクト静注用1500	1,500国際単位1瓶(溶解液付)	178,510円	イスパロクト静注用1500×1バイアル							
			イスパロクト静注用2000	2,000国際単位1瓶(溶解液付)	230,339円	イスパロクト静注用2000×1バイアル							
			イスパロクト静注用3000	3,000国際単位1瓶(溶解液付)	329,913円	イスパロクト静注用3000×1バイアル							

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
12	116	外用薬	ハルロピテブ8mg	8mg1枚	404.90円	28枚（1枚/1袋×28袋）	久光製薬	ロピニロール塩酸塩	パーキンソン病	通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。	劇、処方	R1.9.20	新投与経路
			ハルロピテブ16mg	16mg1枚	623.00円	28枚（1枚/1袋×28袋）							
			ハルロピテブ24mg	24mg1枚	801.50円	28枚（1枚/1袋×28袋）							
			ハルロピテブ32mg	32mg1枚	958.40円	28枚（1枚/1袋×28袋）							
			ハルロピテブ40mg	40mg1枚	1,101.00円	28枚（1枚/1袋×28袋）							
13	131	外用薬	アイベータ配合点眼液	1mL	456.00円	プラスチック点眼容器5mL×5、5mL×10	千寿製薬	プリモジニ酒石酸塩/ チモロールマレイン酸塩	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合： 緑内障、高眼圧症	1回1滴、1日2回点眼する。	処方	R1.9.20	新医療用配合剤
14	132	外用薬	リティンバ耳科用250μgセット	1セット	32,691.30円	リティンバ耳科用250μgセット（凍結乾燥品1バイアル・添付溶解液1本・鼓膜用ゼラチンスポンジ1個）：1セット	ノーベルファーマ	トラフェルミン（遺伝子組換え）	鼓膜穿孔	鼓膜用ゼラチンスポンジに100μg/mLトラフェルミン（遺伝子組換え）溶液全量を浸潤させて成形し、鼓膜穿孔縁の新鮮創化後、鼓膜穿孔部を隙間なく塞ぐように留置する。	処方	R1.9.20	新投与経路

- ・薬価については官報をご確認下さい。
- ・承認時段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますのでご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。